

## 霧島山（新燃岳）の火山活動解説資料

福岡管区气象台  
火山監視・情報センター  
鹿児島地方气象台

霧島山（新燃岳）では、本日（27日）15時37分に小規模な噴火が発生しました。  
新燃岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

### ○ 活動概況（図1、図2）

本日（27日）15時37分に小規模な噴火が発生しました。火口カメラ（新燃岳火口南縁）及び遠望カメラ（新燃岳の南7km）では、火口内から灰白色の噴煙が火口縁上100mまで上がり雲に入るのを観測しました。

また、15時50分頃、高千穂河原（新燃岳火口の南東約3km）で弱い降灰を観測しました。



図1 霧島山（新燃岳） 火口内の状況（2010年5月27日15時37分）

火口カメラ（新燃岳火口南縁）では、火口内で灰白色の噴煙が上がっているのを観測しました。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。



図2 霧島山（新燃岳） 噴煙の状況（2010年5月27日15時37分）  
遠望カメラ（新燃岳の南7km）では、灰白色の噴煙が火口縁上100mまで上がり雲に入るのを観測しました。